

2020年3月16日

各 位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム
代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛
(コード番号: 3814 東証 J A S D A Q)
問合わせ先 取締役管理部長 菊本 健司
電話番号 0 8 3 6 - 3 9 - 5 1 5 1
U R L <http://www.afs.co.jp/>

(訂正) 「平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕 (非連結) 」の一部訂正について

当社は、平成30年8月10日に開示いたしました「平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕 (非連結) 」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2020年3月16日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)

平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム 上場取引所 東
コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理部長 (氏名) 菊本 健司 TEL 0836-39-5151
四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日
配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	1,424	△7.7	49	△46.6	39	△18.9	26	38.1
29年9月期第3四半期	1,542	△3.0	92	△13.6	49	△40.0	18	△71.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	10.58	-
29年9月期第3四半期	8.65	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第3四半期	2,499	1,017	40.7	413.20
29年9月期	2,539	1,041	41.0	422.66

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 1,017百万円 29年9月期 1,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	-	0.00	-	20.00	20.00
30年9月期	-	0.00	-		
30年9月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成30年9月期の業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,150	3.0	140	89.5	116	287.9	85	9.4	34.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	2,513,800株	29年9月期	2,513,800株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	50,192株	29年9月期	50,143株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	2,463,643株	29年9月期3Q	2,182,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善傾向と、雇用、所得環境の改善を背景に、国内景気は緩やかながらも回復基調が続く一方、海外の政治・経済動向の不確実性の高まりや株式市場の不安定感から、先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社の主要販売先である外食企業におきましては、全体的な売上高として堅調な推移を見せているものの、業態によって業況にばらつきがあるほか、消費者の節約志向は根強く、食材価格の高騰や、人材確保の競争激化による人件費の高騰など、当社の事業領域においては、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は、中堅、大手の外食チェーンを中心に、従来からのASPによる基幹業務システムを核としたPOS・オーダーリングシステムなどのトータルソリューションサービスを提供するとともに、平成28年9月期より再販を開始したパッケージ型の「飲食店経営管理システム(R)」の販売活動に注力し、ソフトウェア販売の比率を徐々に高めております。また、平成29年8月31日に「ホテル運営事業の譲受に関するお知らせ」で公表したとおり、ホテル事業へも参入しております。

その結果、当第3四半期累計期間は、売上高は1,424,745千円(前年同四半期比7.7%減)となりました。利益面に関しましては、営業利益49,552千円(前年同四半期比46.6%減)、経常利益39,886千円(前年同四半期比18.5%減)、四半期純利益26,072千円(前年同四半期比38.1%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

なお、当社は、「ASPサービス事業」の単一セグメントでありましたが、平成29年9月21日付でナチュラルグリーンリゾート株式会社より、ホテル事業の譲受を行ったことに伴い、第1四半期会計期間から、報告セグメントを「ASPサービス事業」と「ホテル関連事業」に変更しております。

(ASPサービス事業)

当社は、顧客である飲食店舗に対し、ASPサービス事業を核としたASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。当事業におきましては、売上高は1,373,852千円となり、セグメント利益は50,100千円となりました。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規顧客獲得及び既存顧客へのサービス拡大に注力した結果、売上高は870,554千円(前年同四半期比5.2%増)となりました。月額サービス料は、9ヶ月累計で757,792千円(前年同四半期比4.9%減)となりました。

② システム機器事業

当事業におきましては、POSシステムなどの新規受注、既存顧客の機器入替えなどを行った結果、売上高は365,858千円(前年同四半期比37.7%減)となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社商品の販売などを行った結果、売上高は137,439千円(前年同四半期比7.3%増)となりました。

(ホテル関連事業)

当社は、ナチュラルグリーンパークホテルの管理運営を行っております。当事業におきましては、売上高は50,892千円となり、セグメント損失は547千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、2,499,521千円となり、前事業年度末に比べ40,119千円減少いたしました。これは主に、未収入金73,401千円、商品60,491千円及びソフトウェア仮勘定40,111千円の増加があった一方で、現金及び預金119,451千円、未収消費税等53,103千円及びソフトウェア28,393千円の減少などによるものであります。

負債合計は1,481,548千円となり、前事業年度末に比べ16,799千円減少いたしました。これは主に短期借入金50,000千円の増加の一方で、買掛金62,926千円などの減少によるものであります。

純資産は1,017,973千円となり、前事業年度末に比べ23,319千円減少いたしました。これは、四半期純利益26,072千円の計上的一方、配当金の支払い49,273千円に伴う利益剰余金23,200千円の減少などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年5月2日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	281,520	162,069
売掛金	161,963	<u>181,072</u>
商品	<u>323,349</u>	<u>383,840</u>
貯蔵品	28,860	26,381
前渡金	17,773	9,180
前払費用	<u>16,330</u>	<u>18,483</u>
繰延税金資産	<u>42,792</u>	<u>35,366</u>
未収入金	8,712	82,114
未収消費税等	<u>53,814</u>	—
その他	6,896	670
貸倒引当金	<u>△4,259</u>	<u>△6,435</u>
流動資産合計	<u>937,042</u>	<u>892,743</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	720,789	715,885
構築物（純額）	18,466	17,303
工具、器具及び備品（純額）	149,033	161,050
土地	139,627	139,824
リース資産（純額）	76,523	64,542
建設仮勘定	615	695
有形固定資産合計	<u>1,105,055</u>	<u>1,099,301</u>
無形固定資産		
ソフトウェア	<u>100,362</u>	<u>71,969</u>
ソフトウェア仮勘定	<u>163,697</u>	<u>203,808</u>
電話加入権	2,445	2,445
特許権	671	601
のれん	27,777	23,611
無形固定資産合計	<u>294,953</u>	<u>302,435</u>
投資その他の資産		
関係会社株式	10,200	10,200
出資金	123	124
長期前払費用	<u>140,273</u>	<u>140,937</u>
敷金及び保証金	12,200	13,152
繰延税金資産	12,262	7,177
長期未収入金	59,677	58,960
その他	10,825	17,500
貸倒引当金	<u>△43,050</u>	<u>△43,012</u>
投資その他の資産合計	<u>202,512</u>	<u>205,041</u>
固定資産合計	<u>1,602,520</u>	<u>1,606,777</u>
繰延資産		
社債発行費	77	—
繰延資産合計	<u>77</u>	<u>—</u>
資産合計	<u>2,539,640</u>	<u>2,499,521</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	143,276	80,350
短期借入金	450,000	500,000
1年内償還予定の社債	7,000	—
1年内返済予定の長期借入金	103,749	97,923
リース債務	17,643	17,253
未払金	68,140	55,232
未払費用	11,942	12,321
未払法人税等	6,569	1,993
預り金	10,150	18,007
前受金	52,099	<u>63,148</u>
賞与引当金	19,461	4,931
その他	—	44,653
流動負債合計	<u>890,034</u>	<u>895,814</u>
固定負債		
長期借入金	501,250	482,909
リース債務	65,706	52,766
退職給付引当金	41,356	35,491
その他	—	14,566
固定負債合計	<u>608,313</u>	<u>585,733</u>
負債合計	<u>1,498,347</u>	<u>1,473,748</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	327,723	327,723
利益剰余金	<u>213,181</u>	<u>189,980</u>
自己株式	△37,560	△37,673
株主資本合計	<u>1,041,206</u>	<u>1,017,892</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	86	80
評価・換算差額等合計	86	80
純資産合計	<u>1,041,292</u>	<u>1,017,973</u>
負債純資産合計	<u>2,539,640</u>	<u>2,499,521</u>

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
売上高	1,542,952	1,424,745
売上原価	983,882	833,322
売上総利益	559,070	591,423
販売費及び一般管理費	466,353	541,870
営業利益	92,716	49,552
営業外収益		
受取利息	28	3
受取配当金	38	83
貸倒引当金戻入額	3,058	—
助成金収入	2,950	750
その他	269	1,254
営業外収益合計	6,344	2,090
営業外費用		
支払利息	7,356	7,679
支払保証料	371	247
支払補償費	3,448	1,847
支払手数料	38,566	1,412
その他	116	570
営業外費用合計	49,860	11,757
経常利益	49,201	39,886
税引前四半期純利益	49,201	39,886
法人税、住民税及び事業税	24,761	1,301
法人税等調整額	5,555	12,512
法人税等合計	30,316	13,813
四半期純利益	18,884	26,072

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期財務諸表 計上額(注)
	ASPサービス事業	ホテル関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>1,373,852</u>	50,892	<u>1,424,745</u>	—	<u>1,424,745</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	35,158	35,158	△35,158	—
計	<u>1,373,852</u>	86,051	<u>1,459,903</u>	△35,158	<u>1,424,745</u>
セグメント利益又は損失 (△)	<u>50,100</u>	△547	<u>49,552</u>	—	<u>49,552</u>

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、前第3四半期累計期間においては「ASPサービス事業」の単一セグメントでありましたが、平成29年9月21日付でナチュラルグリーンリゾート株式会社より、ホテル事業の譲受を行ったことに伴い、第1四半期会計期間より、報告セグメントとして「ホテル関連事業」を新設しております。これにより、当社の報告セグメントは、「ASPサービス事業」及び「ホテル関連事業」の2つの報告セグメントとなりました。